

提出された意見の内容とそれに対する県の考え方

「山梨県DX推進計画」(素案)

番号	箇所	意見の内容	意見に対する県の考え方(対応方針)
1	概要版 本文 P9~P11 4. 本県の目指す姿と 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「DX 人材育成エコシステム」は良い取り組みだと思います。</li> <li>・DX は、人手不足問題を解消して生産性向上を進めるために欠かせませんし、県内で育った若者が県内で活動する企業と協力して山梨を盛り上げていくというコンセプトにも共感します。</li> <li>・計画はすでに十分な内容だと思いますので、県内経済の活性化に取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul>	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見のとおり、中小企業の DX 支援が進み地域経済の活性化につながるよう、DX 人材育成エコシステムをはじめ様々な取り組みを実施していきます。</li> </ul>
2	本文 P20~P23 5.5 取り組み概要(暮 らしの DX)  ・「デジタル医療立県 やまなし」の促進 ・データを活用した 健康・医療・福祉 ・防災情報・災害発生 情報の充実・高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案は一般的によく見られる事項の列挙であり、本県における必要性や達成可能性が十分に検討されているか不明です。具体的な課題の1つとして、防災と健康福祉は一体化が必須ですが、このような提案は見られず縦割りの印象があります。</li> <li>・優れた成果の達成には山梨の課題の具体的な評価と領域横断的な山梨独自のグランドデザインが重要であり、そのためには従来の枠を超えた広い人材や知識の集約が重要です。また、このような計画は長期のデザインの基に作成すべきです。</li> <li>・山梨の課題は他県の課題とも一致し、その成功は広く活用が可能です。まずは適正な人材や知見を集約する体制を、既存のものにこだわらず構築することが最も重要と思われます。</li> </ul>	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見のとおり、様々な行政分野間の連携や人材・知識の集約についても適切に取り組んでいきます。</li> </ul>
3	本文 P5 3.1 本県における DX の取り組み状況(産 業の DX)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017 年の IoT 推進ラボの立ち上げから行ってきた事業や中小企業に対する DX 化支援についての取り組みが記載されていません。大企業や大学主導の事例のみを捉えて「産業の DX」と一括りで評価することには少々疑問があります。</li> </ul>	<p>(修正加筆等意見反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当箇所については、ご意見を踏まえて「中小企業の先進的技術の活用支援」を追記します。</li> </ul>
4	本文 P34 6.2 実行計画(産業の DX) ・2-① ものづくりな どの生産性向上 (「現状・課題」欄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX に関する企画立案可能な人材の不足や高額な DX への投資に躊躇することから取り組みが進んでいないとの記載がありますが、DX への取り組みは始まったばかりであり、いきなり高額な投資をする DX 化は、人材がいたとしても今行うものではありません。</li> <li>・5年後、10年後の目標が今できていないことが課題であるかのように記載されていますが、「小さく産んで大きく育てる」時期ではないでしょうか。</li> <li>・なお、企業の情報収集にあたっては、企業文化の違いが DX 化の推進に大きく影響するという認識が重要です。</li> </ul>	<p>(修正加筆等意見反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当箇所については、ご意見を踏まえて「費用が高額」という表現を削除します。</li> </ul>

番号	箇所	意見の内容	意見に対する県の考え方（対応方針）
5	本文 P9 4.2.1① 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「DX 人材育成エコシステム」の取り組みに異を唱えるつもりはありませんが、今後 AI を活用するには統計学を学んだデータサイエンティストの存在が重要であり、その養成を大学にお願いしたいと思います。</li> <li>・ DX 化には、①業務のデジタル化、②収集データの見える化、③AI 等を利用したデータ分析という3つのステップがあり、③でデータサイエンティストの出番となることから、DX 化の入口である①に必要な人材は大学生ではないと思います。</li> <li>・ なお、分析に使うデータの精度が保証されるよう、企業内でシステムの運用ルールを守らせる体制をとることが重要です。</li> </ul>	<p>（実施段階検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX 人材育成エコシステムでは、大学生ならではのアイデアを生かし、DX を導入しづらい比較的規模の小さな中小企業の効率化・省力化など課題解決の支援を行っていきます。</li> <li>・ いただいたご意見は、今後の業務における参考とさせていただきます。</li> </ul>
6	本文 P6 3.4 やまなしデータプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やまなしデータプラットフォームについて、本当の意味で DX としてのデータ利活用が進むようデータの鮮度を高めて欲しいと思います。</li> </ul>	<p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該プラットフォームで提供するデータの鮮度を高め、データ利活用を推進していきます。</li> </ul>
7	本文 P9 4.2 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「DX 人材」や「DX 人材育成エコシステム」について、どの程度のスキルを持った人材を想定しているのでしょうか。DX の指導・育成にはかなりの知識とスキルが必要となります。</li> <li>・ ビジネス経験のない大学生に中小企業の課題理解や解決策提供ができるとは思えません。その部分は専門家に任せ、まずは大学生による中高生の指導・育成サイクルを作り上げることに注力した方が良いと思います。</li> <li>・ 人材育成の試みは短期的に成果が出るものではないため、長期的に取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul>	<p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX 人材育成エコシステムでは、高度な DX の指導・導入ではなく、若い大学生ならではの感性を生かして中高生への指導を行うとともに、関係団体と協力しながら中小企業の効率化・省力化など課題解決を支援していく取り組みです。</li> <li>・ 本県の取り組みについて、ぜひご理解いただきたいと思います。</li> </ul>
8	全般 （6.2 実行計画（産業のDX）関係）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX 化の推進に並行してセキュリティ対策がますます重要になっていくと思います。「行政のDX」と同様に、「産業のDX」の実行計画にも「情報セキュリティに関する研修の実施」を入れておくべきだと思います。</li> </ul>	<p>（実施段階検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいたご意見は、今後の業務における参考とさせていただきます。</li> </ul>